

## ママ、私の手はいくら洗っても白くならない

私はスリランカから日本に来て14年経ちました。12歳と10歳の娘がいます。

下の娘が4歳になり、保育園に通っていた時のことです。

気がつくと、娘は毎日石鹸で何回も何回も手や顔を洗うようになりました。

娘の行動の変化について気になった私は、そのことについて聞きました。

娘は涙ぐんで私を見つめ、「ママ、私の手、白いよね。」

と、言いながら両手を広げて見せました。

「そうよ。あなたの手は白いよ。」と言うと、娘は、

「でも、ママ。顔と手のこっち側（甲）は、いくら洗っても白くならないよ。」と言いました。突然この言葉を聞いた私は、何を言えばいいのかわからなくなりました。

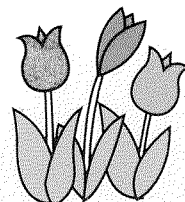
「どうしたの？何があったの？話してごらん。」と聞くと、娘は泣きながら、

「友だちが、『手が黒いから、顔と手を洗ってきて。』と、言っているよ。『外人、外人。』って言っている人もいるよ。ママ、どうして私は『外人』なの？」と聞きました。その言葉を聞いた私は胸が張り裂けそうになり、体全体が震えだしました。

そして、娘をきゅっと抱きしめて、どうやって説明したらいいか考えました。

その時、私の頭の中に『チューリップ』の歌が浮かんできました。

♪ さいた さいた チューリップの花が  
ならんだ ならんだ 赤 白 黄色  
どの花 見ても きれいだな ♪



「どの色のチューリップもみんなきれいでしょ。それと同じようにどの人にもいいところがあるんだよ。友だちはまだそのことがよくわからないんだよ。だから、あなたは、みんなとなかよくしてね。」と言いました。

私が日本に来て受けた苦しみを、日本で生まれ育った娘がまた受けるなんて、夢にも思いませんでした。娘をこれから育てていくために、私は何をしたらいいのか悩みました。

しかし、一人で悩んでいてもどうしようもないと思い、私は保育園のお母さん方に娘の苦しみや私の悩みを話してみることにしました。

保育園やお母さん方は娘や私の苦しみをわかってくれて、「二度とこんなことがないようにしよう。」とってくれました。

そのおかげで、現在四年生の娘は、毎日楽しく学校に通っています。

私の悩みを自分たちの問題として真剣に考えてくださった地域の方々に感謝しています。